



平成24年度 活動報告

[2010年5月21日]

平成24年度の様々な活動報告

埋蔵文化財調査センターの発掘調査以外の様々な活動について随時報告していきます。

3月29日（金曜日）更新 「清須市ガイドボランティア」の方たちが当センターを見学されました。

調査研究課の伊奈です。

3月27日（水曜日）に清須市の「清須市ガイドボランティア」の方たちが当センターを見学されました。初めに研修室で当センターや発掘調査についての概要、清洲城下町遺跡についての説明をした後、2班に分かれて収蔵庫や、科学分析室、図書室、資料管理閲覧室などを見学していただきました。特に注目の的となったのは、清洲城下町遺跡で発掘され、当センターが保管する「雑賀」と墨書された石垣の石でした。皆さん研究熱心で、専門的な質問をされる方も多く、私たち職員も勉強になりました。

今後のガイドボランティア活動に役立てていただければ幸いです。





研修室での様子





「雑賀」と墨書の残る石垣の石

当センターの見学については、以下のようになっています。是非一度足を運んでいただけたらと思います。

資料管理閲覧室および図書室の利用について

- ・ **資料管理閲覧室**は、平日（月～金）の午前9時から午後4時まで公開しています。（無料）

※ 2階事務室にお越しください。

- ・ 団体での見学などで、職員による説明を希望される方は、あらかじめご連絡ください。（電話 **0567-67-4164**）

- ・ 研究のための資料調査をご希望の方も、事前にご連絡ください。

- ・ **図書室**の利用を希望される方も事前にご連絡ください。

なお、今回ご紹介したような施設の見学を希望される方は、ご相談ください。

3月28日（木曜日）更新 豊田市立下山中学校で出前授業を行いました。

調査研究課の本田です。

3月14日（木曜日）に、**豊田市立下山中学校**の1年生を対象とした**出前授業**を行いました。昨年度から下山地区での発掘調査が始まっていることから、その成果の紹介と土器にふれる体験の2つのテーマで行いました。

「**土器にふれる体験**」では、まず縄文土器から山茶碗までの完形の遺物を観察し、そのあと、その遺物を参考にして「**土器・ど・キット**」の土器片の時代ごとの分類に挑戦しました。生徒たちは班ごとに配られた土器片を手にして、展示された遺物の模様や色、手触りなどを比べながら、土器の特徴を捉えようと頑張っていました。土の違いなど、細かいことまで気付く生徒も多く、本当によく観察していたと思います。



「土器・ど・キット」です。縄文土器・弥生土器・須恵器・灰釉(かいゆう)陶器・山茶碗・天目茶碗・近世陶器からなる縄文時代～近世の「触れる」土器片のセットになります。



皆一生懸命に分類しました。



「土器・ど・キット」と展示遺物を見比べています。

その次に、昨年度調査した豊田市花沢町の**南川遺跡**について説明しました（**南川遺跡**の調査については、当センターwebページ内の「**過去の活動報告**」(<http://www.pref.aichi.jp/0000050832.html>)をご覧ください)。**南川遺跡**では、**縄文土器**や多様な石材による**石器**、**中～近世の遺物・遺構**が出土した遺跡です。住居跡などはみつからなかったものの、遺物の出土具合などから当時の人々がどこに住んでいたと考えられるか、などの解説を行い、出土遺物に触れてもらいました。



熱心に説明を聞いています。

中には昨年度、**南川遺跡**の**体験発掘**に参加した生徒もおり、**縄文土器**の模様や**石器**の色、形を大変興味深そうに観察し、積極的に質問してくれました。特に**縄文土器**の模様の違いについて疑問をもった生徒が多かったように思います。今年度の調査についてもスライドを用いて説明をしました。

出前授業を行うたびに、実物が持つ、子どもを引きつけ、動かす力を感じます。また、積極的に質問をする子供たちの関心の高さも感じます。こうした力をしっかりと引き出し、より子どもたちの想像力を刺激できる内容の授業を今後も追求していきたいと思ひます。

3月28日（木曜日） 更新 半田市立乙川東小学校で出前授業を行いました。

調査研究課の米満です。

3月12日に半田市立乙川東小学校の5年生を対象に出前授業を行いました。最初に実際の縄文土器などの遺物や、遺跡の場所などを、スライドを用いて解説をしました。次に各時代の土器片セット「土器・ど・キット」を用いて、各時代の土器に触れ、古い順に並び替えるというゲームを行いました。子供たちは縄文土器や動物の骨などの写真に興味を示し、身近に多くの遺跡があることを知って驚いていました。また、土器に触れ、色や形、重さや触感などを自分の手で感じることもできました。休憩をはさんだ後、火起こし道具を使って、火起こしを体験しました。子供たちは一生懸命に火起こしを体験し、煙が上がるたびに大騒ぎをしていました。

当センターでは、保管している土器や石器を携えて学校を訪問するなど「出前 (about:blank) 授業」を実施しています。今後も内容を工夫しながら、愛知県内の遺跡や文化財について理解を深めていただけるよう工夫していきたいと思えます。



1月16日（水曜日） 更新 高校生が体験学習を行いました。

調査研究課の小澤です。

愛知県立岡崎北高等学校の生徒さんの体験学習が12月25日（火）・26日（水）の2日間にわたって発掘現場と埋蔵文化財調査センター (<http://www.pref.aichi.jp/0000032060.html>) でおこなわれました。

1日目の発掘体験は豊田市下山地区の皿田遺跡でおこなわれました。当日、朝の気温がマイナス5度をしたまわるこの冬一番の冷え込みでしたが、発掘で汗を流してもらいました。発掘対象は、炭窯内側の窯壁と床でした。道具の使い方に慣れるのに多少手こずっていたようですが、作業が進むにつれ徐々に様になっていきました。



皿田遺跡の発掘（引率の先生も一緒に発掘。何か見つかったかな?）

午後からは、豊田市下山地区の朴ノ木遺跡と豊田市上野町の寺部遺跡の見学をおこないました。朴ノ木遺跡では、当センターの調査担当から遺跡の概要や現在の発掘状況の説明を聞き、調査範囲の広さに驚いていました。また、寺部遺跡では、豊田市教育委員会の方の案内で、遺跡周辺の環境から遺跡の性格やそれぞれの遺構について丁寧な説明をしていただきました。



朴ノ木遺跡での見学（土色の違いわかるかな?）

2日目は埋蔵文化財調査センター (<http://www.pref.aichi.jp/0000032060.html>) でおこなわれました。はじめにオリエンテーションとして当センターの活動や施設の概要を説明しました。それから、（公財）愛知県埋蔵文化財センター (<http://www.maibun.com/top/>) による石座（いわくら）神社遺跡で出土した土器の接合作業を作業員さん達に混じって実際に体験してもらいました。破片や断片が接合されて一つの形となっていくのを目の当たりにし時間を忘れて熱中していました。そして、愛知県でこれまで発掘された遺跡から出土した遺物が展示されている資料管理閲覧室 (<http://www.pref.aichi.jp/0000032111.html>) と館内に収蔵されているその他の遺物の見学、遺跡から発見された昆虫遺体の顕微鏡での観察、金属製品の分析や木製品

の保存の作業の見学等をおこないました。また、考古学についての基礎的な知識や考古学を専門に研究し調査を実施している機関等について説明しました。

2日間にわたる体験学習は、時間的にあまり余裕がない中、内容の濃いところもあり、消化不良の面もあったかもしれませんが、考古学という分野とその仕事を少しでもわかってもらうとともに今後の進路に役立ってもらえたら幸いです。



土器の接合作業（立体パズルです）と資料閲覧室の見学（教科書で見たことある!）



オリエンテーションと考古学についての説明（考古学にはこんなことも必要なんだ!）

11月15日（木曜日）更新 11月3日（土曜日）・4日（日曜日）の臨時開館の様子を紹介 します。

調査研究課の伊奈です。

11月3日（土）と4日（日）に[文化財保護強調週間](http://www.bunka.go.jp/bunkazai/aigo/hogoweek.html)
[（http://www.bunka.go.jp/bunkazai/aigo/hogoweek.html）](http://www.bunka.go.jp/bunkazai/aigo/hogoweek.html)（11月1日〈木〉から7日〈水〉）と弥富市
主催の第13回市民文化展（11月2日〈金曜日〉～4日〈日曜日〉）に合わせて当センターも臨時開館しまし
た。

先般重要文化財の指定を受けた朝日遺跡 [（http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/index.html）](http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/index.html)
出土品を特別公開し、資料管理閲覧室の公開とともに解説をしました。また、特別企画として、朝日遺跡出土
土器の拓本や火起こしの体験を実施しました。

普段展示をしない重要文化財が展示されると聞いて見に来られた方もみえ、担当者の説明を熱心に聞かれる
姿が印象的でした。

特別企画の拓本体験は、朝日遺跡（清須市）から出土した本物の土器を使って拓本をとってもらい、記念の
カードを作るという内容で、好みの土器を選び、たんぼで墨を打つ作業を楽しく体験してもらいました。ま

た、**火起こし体験**も親子で挑戦される方が多く、ライターもマッチも使わずに火起こすことの大変さを知っていただけたと思います。火を起こすことができた方には「**火おこし名人認定証**」をお渡ししました。どちらの企画も親子で楽しめる企画ですので、また機会を作って実施したいと思います。

二日間で65名の来館者がありました。また、来年の春には「やとみ春まつり」に合わせて企画したいと考えています。地元**弥富市**の方に当センターの存在と活動内容を知っていただき、理解を深めていただけたらと思います。

平常の資料管理閲覧室および図書室の利用について

- ・ 資料管理閲覧室は、平日（月～金）の午前9時から午後4時まで公開しています。（無料）
※ 2階事務室にお越しください。
- ・ 団体での見学などで、職員による説明を希望される方は、あらかじめご連絡ください。（電話 0567-67-4164）
- ・ 研究のための資料調査をご希望の方も、事前にご連絡ください。
- ・ 図書室の利用を希望される方も事前にご連絡ください。



今回展示した重要文化財のパレススタイル土器



親子で拓本体験。どちらがうまくできたかな？



コツをつかむまでが難しい火起こし体験



「拓本の記念カード」と「火おこし名人認定証」

10月26日（金曜日）更新 岡崎市立秦梨小学校で「出前博物館」を実施しました。

調査課の石井です。

以前、こちらのコーナーで県内の小学校を対象に県教育委員会実施している「出前博物館」について紹介しました。この「出前博物館」への協力として、今回は朝日遺跡 (<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/index.html>) から出土した土器や石器、貝塚から見つかった貝殻や鹿の角などを携えて、岡崎市の秦梨小学校を訪問しました。体育館に集合した5年生と6年生の児童は朝日遺跡 (<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/bunka/asahi/index.html>) や出土した品々の話を聞いてから、石器や土器を見学しました。実際にやじりを触って尖った感触を確かめたり、貝殻のにおいをかいだり、それぞれの方法で古代を感じていました。

この後、児童と一緒に先生方も参加され火おこし体験を行いました。力いっぱい火おこし具を動かし続けるのは5年生にはちょっと大変な作業でしたが、火が付くたびに歓声が上がっていました。

今回のように山に囲まれて貝塚とは縁が無い学校にも、貝塚について理解を深めてもらえるよう今後も県内各地の小学校へ出前ができれば [\(about:blank\)](#) と思います。